

第 1 回流山市補助金等審議会会議録

- 1 開催日時 令和 4 年 1 1 月 7 日 (月) 午後 2 時から
- 2 場 所 流山市役所第 2 庁舎 3 階 3 0 4 会議室
- 3 出席委員 山田会長、神田副会長、山本委員、高橋委員
石井委員、笠間委員
- 4 欠席委員 中村委員
- 5 事務局 浅水財政部長、村山財政部次長兼財政調整課長
岩井課長補佐、村山主任主事、加茂会計年度任用職員、加藤会計年度任用職員
- 6 傍聴者 なし
- 7 議 題
 - (1) 令和 5 年度予算における補助金等について (諮問)
 - (2) その他
- 8 配付資料
 - (1) 諮問書
 - (2) ヒアリング実施補助金一覧【資料 1】
 - (3) ヒアリング審査表【資料 2】
 - (4) 補助金等審査の判断基準【資料 3】
 - (5) 令和 5 年度予算要求のあった補助金一覧【資料 4】
(令和 4 年 1 0 月 2 8 日時点)
 - (6) 令和 4 年度補助金等審議会開催予定表【資料 5】
 - (7) 補助金等調査票・補助金等適正化実行プラン
(ヒアリング対象分)

開 議 1 4 時 0 0 分

(事務局)

本日は、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。
す。

はじめに、事務局から出席者の確認をいたします。

山田 聡 会長 様

神田 玲子 副会長 様

山本隆一郎 様

高橋 直洋 様

石井 孝 様

笠間 雄三 様

なお、

中村 哲之 様は、都合により本日欠席となります。

次に、今年度の補助金等審議会を担当する事務局の職員を紹介いたします。

初めに、財政部長から皆様に御挨拶申し上げ、その後、自己紹介により紹介いたします。

(浅水財政部長)

財政部長の浅水です。

今年度も流山市補助金等審議会の委員として御参加いただき誠にありがとうございます。

皆様におかれましては、令和2年度より本市の補助金等について御審議いただき、様々な御意見・御指摘を答申書にまとめていただきました。本年度も12月までの期間で御審議を重ねていただくこととなります。

なお、昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、オンラインでの会議とさせていただきますでしたが、本年度は十分な感染症対策を講じたうえで市役所会議室での開催とさせていただきますので御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。

本年度御審議いただく6件の補助金は市民の生活に関わりの強いもの及びコロナ禍における事業者の支援につながるものとなりますが、皆様から頂いた貴重な御意見、御指摘は市の予算編成作業におきまして、反映できるよう考えております。

委員の皆様には、これから年末にかけて何かと忙しくなる時期での審議会開催となりますが、何卒、御理解と御協力をいただき、忌憚のない御意見を頂戴出来ますようお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、御挨拶とさせていただきます。

【次長から順に挨拶】

(事務局)

それでは只今から、第1回流山市補助金等審議会を開催いたします。

本日の予定については、次第にお示しのとおり進めさせていただきます。

ここから、山田会長に議事の進行をお願いします。

(山田会長)

それでは、次第に沿って順次進めてまいります。

はじめに、(1)の「諮問について」を議題とします。

事務局をお願いします。

(事務局)

それでは、浅水財政部長より当審議会への諮問書を会長にお渡しいたします。

【諮問書読み上げ】

(山田会長)

ただいま、当審議会に対しまして「令和5年度補助金等の適正化について」諮問がありました。

事務局に、今回の諮問及び配付資料についての説明をお願いします。

(村山財政調整課長)

それでは、私から、本日の資料についてご説明させていただきます。

諮問書にありますとおり、今回の審議会では、6つの補助金を対象に、御審議をお願いいたします。

現在、流山市では、新年度の予算編成作業を行っておりますが、これから皆様に御審議をいただき、12月16日(金)に答申をしていただき、必要な内容を反映させたいと考えております。

それでは、まず「資料1」をご覧ください。

今回の審議対象となる補助金の一覧になります。上から

- ・がん患者等ウィッグ及び乳房等補整具購入助成金
- ・生ごみ肥料化処理器購入補助金
- ・就労支援施設利用者負担助成金
- ・グループ提案型売上アップ・プロジェクト応援補助金
- ・農林水産業の振興に関する補助金(高生産推進事業費)
- ・農林水産業の振興に関する補助金(認定農業者支援事業)

となります。

この6つの補助金を選考した基準をご説明いたします。

本年度審議をしていただく対象の補助金は、流山市の単独の補助金で、令和4年度から新たに創設された補助金のうち昨年度審

議の対象とならなかつたものと既存の補助金のうち前年度からの増加率が高い補助金を選考しております。

なお、「生ごみ肥料化処理器購入補助金」は昨年度御審議いただいておりますが、市民への周知方法を工夫するように審議会からの意見があり、評価が「C」であったため、今年度も御審議いただくこととしております。

また、「資料1」に記載している補助金の内容等を取りまとめた「補助金等調査票・補助金等適正化実行プラン」をお渡ししておりますので、次回の審議会までにお目通しをお願いいたします。

次に、「資料2」をご覧ください。

これは、ヒアリング対象の補助金について、各委員の皆様へに評価をしていただいた内容を記入する評価表になります。

予定として、次回の11月15日の審議会では、先程の6つの補助金について、各担当課から補助金の内容等をご説明いたしますので、その際に、不明な点などを質問し、個別に評価した内容を記入していただきます。

次に、「資料3」をご覧ください。こちらは、「評価の基準」となります。

これまでの審議会においても、この評価基準に基づき、評価していただいておりますので、事務局といたしましては、この基準で、補助金の評価、審議をしていただきたく、お願いをいたします。

簡単にご説明いたしますと、6つの補助金それぞれを一番左側にあります「公益性」、「公平性」、「必要性」、「効果」、「適切性」の5つの観点から評価していただきます。

評価は、「適切性」の下の段にある「Aの妥当」、「Bのおおむね妥当」、「Cの見直しの必要がある」、「Dの妥当性なし」の中からそれぞれ判定していただきます。

ここで、先ほどの「資料2」をご覧ください。評価表の列の中ほどの「公益性」から「適切性」まで、6つの補助金についてAからDの判定評価を記入していただきます。

また、右から2列目の「総合評価」の欄には、「資料3」の一番下の行の「Aの妥当なもの」から「Dの不認可とすべきもの」の判定評価を記入していただきます。

次に、「資料4」をご覧ください。こちらは、令和5年度予算要求のあった全補助金の一覧です。補助金の名称の右側に、本年度予算要求額、昨年度予算額、国県補助の有無、補助金の開始年度など一覧表として参考にまとめたものです。

なお、この一覧表は令和4年10月28日現在のものになりますので、今後の予算編成作業の中で追加等がある可能性がございますのでご了承くださいますようお願いいたします。

次に「資料5」をご覧ください。補助金等審議会の開催予定表となります。

以前、皆様には、審議会の予定表として、配付させていただきましたが、審議会の日程を最終的に、このように設定させていただきました。

一番下の12月16日の市長への答申書の提出に向け、ご覧の日程で審議会を開催いたします。

次回は、11月15日に審議対象となった補助金の担当課とのヒアリングを行い、11月22日にはその結果をまとめ、11月28日、12月6日で答申書（案）について審議をしていただきます。

最後になりますが、昨年度はオンラインでの会議とさせていただきましたが、本年度は十分な感染対策を行ったうえで市役所会議室での開催とさせていただきます。

委員の皆様には、年末にかけてお忙しいところ恐縮ですが、どうぞ御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上で、私からの説明は終わります。よろしくお願いいたします。

（山田会長）

事務局から説明がありましたが、何か質問等ございますか。

私からは、1点質問があります。

資料3の公平性の判断基準に「長期にわたり交付し、補助事業がマンネリ化、既得権化していないか。」というのがあります。

そして、次の資料4を見ていただくと補助の経過年数が半世紀を超えている補助事業が何点か見受けられます。

本来、このような事業も審査の対象となってくるのではないかと思います。今回の審査対象を先ほど説明のあった6件にした

経緯について説明いただければと思います。

(村山財政調整課長)

確かに、判断基準には長期化したもの等ありますが、例えば「観光協会事業補助金」については、過去の審議会に諮問し、長期化していることについては指摘を受けているものの事業全体の評価についてはA評価をいただいております。

このようなことから、今回は令和4年度中において新規制定され、審議会にまだ説明していない事業や、補助額の増加率が75%を超える事業、昨年度の審議会においてC評価となった事業などについて審査対象としたものです。

(笠間委員)

長期化しているものについては、市の方で自発的に整理見直しについて積極的に取り組んでほしいと思います。

(山本委員)

時間も限られている審議会ですので、審査対象を6件に絞ったことは理解できます。

コロナ禍以前は全件審査などもあり、ある程度見ることができましたが、なかなか難しい状況になっているのかなと思います。

しかし、経過年数50年でも妥当なものもあれば、経過年数0年でも妥当でないものもあると思うので、単純に良し悪しを言うわけにいかないし全体を見る時間もない中で、審議会で何をやるべきか、これまでの経過も踏まえて改めて考える必要があると思います。

(石井委員)

今回対象とした6件は新規のものや増額率が高かったもの等ということだが、そうなると補助金全体としては毎年増えていくという理解でよろしいのか。また、補助金の廃止などの検討はしないのですか。

(浅水財政部長)

皆様の質問から少しずれてしまうかもしれませんが、審議会のこれまでの経過等について答弁させていただきます。

この審議会は、平成17年に行財政改革審議会の分科会として発足しました。

その時の流山の予算規模は一般会計予算で約360億円くらいですが、今年の当初予算は約730億円、直近の12月補正案

まで加えると約 830 億円の規模となっております。

補助金について申し上げますと、補助金は市の様々な施策目的を達成する手段として活用されますが、最近の予算額及び決算額に占める補助金の構成比率の状況は、新型コロナウイルス感染症対策の関係で増加しております。

今年で言うところには国から地方創生臨時交付金で 8 億円の歳入が見込まれており、これは補助金という形で歳出されます。

また、令和 2 年度では 1 人 10 万円の特別定額給付金があり、市民に支払った給付金が本市では約 197 億円ありました。

これらの予算は、国の施策目的を達成するため市を通して補助金や給付金という形で支出されていますので、大幅に増加していますし今後も増加傾向にあります。

先程も言いましたが、補助金は個人や様々な団体による活動を支援することで国や地方公共団体の様々な施策目的を達成する手段として活用しています。

本市は、人件費を抑制し人口当たりの職員数が少ない組織とする中で、様々な施策実現の手段の一つとして補助金を活用してきましたので、補助金全体を抑制しようという考えはなく、施策実現の手段として活用できる補助金は活用すべく、予算査定の中で皆様から頂いた意見や答申を踏まえ補助額が青天井とならないよう精査しながら補助金の活用を図っているところです。

(笠間委員)

市単独の補助金については、どの程度の効果が出ているかなど厳しく見た上で 20 年、30 年と長期に継続している事業はドラスティックな改革が必要だと思います。

(神田委員)

私は、この審議会委員を務めるのは 2 期目になりますが、最初は新規補助や増額補助に加え市単独の補助金の長期のものについても審査の対象としましたので大変時間を要しましたが、コロナ禍となり時間が取れない中で審査対象が絞られてしまうのは仕方がないのかなと思いました。

しかし、観光協会事業補助金については単に長期であるというだけではなく、昨年度 DMO 推進事業が立ち上がっているのに、なぜ予算が整理されなかったのか疑問に思いました。

(山田会長)

皆さん、色々と意見もあるかと思いますが、今回、諮問を受けた6件に関して何か質問はございませんか。

(笠間委員)

4件目の「グループ提案型売上アップ・プロジェクト応援補助金」が今回の審査対象となった理由は何でしょうか。

(村山財政調整課長)

昨年度の審査対象は、令和3年10月28日現在のデータを基に抽出しており、この補助事業については令和3年11月に入ってからの方針決定であったため、昨年度の新規事業として審査対象とならなかったことから、今回の審査対象とし、皆様に初めて説明するものです。

(山本委員)

審議会としては、諮問のあった6件について審査し答申の中に意見を入れていくのだと思います。

審議会設立当初とは時代も変わってきたし、市の状況も変わってきておりますので、来年度以降については審議会をこのまま続けていくのか、違った形がいいのかなど議論が必要かなと思いました。

また、私たちは今期で終わりますが、今回諮問のあった6件についても関係各課のヒアリングを行い、この記録は市民に公開され市民一人一人に妥当性や公平性などを知る機会が担保されているのでいいのかなと思います。

(山田会長)

他にご意見も無いようですので、審議の対象となる補助金等については、本日配付されました補助金等適正化実行プランを次回の審議会までに目を通していただき、担当課ヒアリングの時に質疑等していただければと思います。

最後に、議題(2)「その他」ということで、事務局お願いします。

(事務局)

今回は、審議対象補助金の6件についての担当課ヒアリングとなります。

開催日時は11月15日(火)午後2時から303会議室で開催します。

私からは以上です。

(山田会長)

次回のヒアリングについて、進行によっては1日で終わらないことも想定されますが、事務局はどのような対応を考えていますか。

(浅水財政部長)

ヒアリングをスムーズに進めるため、本日配付しました資料に目を通していただき、事前に質問事項をメールでいただければ当日の担当課説明の中に加えるなどできると思います。

(事務局)

本日、事務局から様式をメールで送りますので11月10日(木)の午前中を目途に質問事項をいただければと思います。

(山田会長)

それでは、資料確認の上、質問等ありましたら事務局にメールで提出いただければと思います。

以上をもちまして、第1回補助金等審議会を終了いたします。
本日は、ありがとうございました。

閉 議 14時40分

流山市補助金等審議会
会長 山 田 聡